



会場風景

Cula Projectとは「生産背景とクリエイションが上手く結びつき、従来の既成概念に捕われない着眼点や、新しい発見を商品化出来る仕組み」として、2004年に近藤代表が中心となり発足。大阪市内でプリントテキスタイル関連の商品を中心とした、クリエイティブショップを運営する。織研新聞別刷り「アッシュ」でも紹介されるなど、情報発信基地として注目されている。Culaの設立から運営にあたり、企画・生産・販売のシステムを構築すべく活動している人たちをパネラーに迎え、現状の活動状況と今後の可能性が語られた。実に多くのジャンルのクリエイターがこのプロジェクトに参画している。それぞれの立場から、人と人の関わりの重要性、仕事につなげるためのコミュニケーション能力のあり方、ネットワークを通して成長する自己改革などのトークが会場を沸かせた。ネットワークの重要性とテキスタイルデザインの可能性を強烈に印象付けたセミナーであった。セミナー終了後会場を移して交流会が開かれ、若いクリエイターたちの新たな交流が芽生え頼もしさを感じるしだいである。

今回の異業種交流会は、テーマにあるように、様々なライフスタイル [マルチチャンネル・スタイリング=衣・食・住・趣 (個の感性)] に即応する仕事のありかたを模索しようとするものです。異業 (行) 種・異能 (脳) 種の人達とのコラボレーションによるネットワークビジネスの一つのケーススタディーとして、近藤氏のクラ・プロジェクトを紹介しました。異業種交流会の主旨は、セミナーで異業種の人達の話しを聴き、右脳を刺戟する事も大切ですが本当はその後のパーティーで、いかにパネラーや参加した多くの人達とコミュニケーションをとれるかが真の目的です。そういう意味でパーティーは絶えず「増殖の場」として考える事が重要だと思います。(岡本 正大)

今回のセミナーではお互いがそれぞれの役割を尊重し、自身の能力を十二分に発揮することが出来る仕組みを目指す [Cula project] を中心に、他者 (社) との関わり方や問題点、今後の発展性と魅力をそれぞれの立場でお話する、パネルディスカッションとなりました。企業に所属していてもフリーランスの立場に有っても、必要なコミュニケーション能力の重要性を感じ取って貰えればと思います。コミュニケーションを有効に活用する事で手にする素敵な人間関係の繋がりを活かし、目標をクリアして行く、そんな広がりがある今の経済には必要では無いでしょうか。セミナー後のパーティにも多くの方が参加して下さいた事は、そんな大切さを感じ取って貰えたのではと主催者として嬉しく思っています。是非、今回のセミナーをきっかけに今後も色々な集まりや会にも興味を持って参加し、皆が happy を手にする事を願います。(仁井 佳代子)